

## 災害などから 住民の命を守る取組は



録画配信は  
こちらから



まるやま やすお  
丸山 康夫 議員

答 弁 各施設の適切な  
維持管理に努める  
(町長)

**問** 町内にある調整池の管理状況は。  
**答** 都市整備課長  
町内には大型団地開発時に設置されたオリフィス機能を有する調整池が8か所と、調整池を兼ねたため池が3か所設置されており、町が管理している。  
**問** 樹木が生えている調整池が見受けられるが、撤去が必要なのでは。  
**答** 都市整備課長  
8年度の梅雨までにすべての調整池の点検を行った上で、樹木を撤去する。  
**問** 農業用ため池の管理状況は。  
**答** 都市整備課長  
ため池は、年間を通じた池看守人による点検と大雨時には町職員による巡回を実施している。

**問** 異常が見つかった際には、国の交付金を活用した改修や復旧工事を実施している。  
**答** 都市整備課長  
福岡県が管理する河川の維持管理状況は。  
**問** 福岡県が管理する河川の維持管理状況は。  
**答** 都市整備課長  
福岡県土木整備事務所の職員が月に一度巡視を行い、護岸の状況や不法投棄の有無を確認している。また、毎年5月までに、町か

ら河川の浚渫や除草、伐採などの要望書を取りまとめ、福岡県土木整備事務所に提出している。  
**問** 学校体育館エアコン設置のロードマップ策定状況は。  
**答** 学校教育課長  
令和8年度は宇美中学校・宇美東中学校、9年度は井野小学校・宇美東小学校・桜原小学校、10年度は宇美南中学校・原田小学校・宇美小学校に設置を予定している。  
**問** エアコン設置の前倒しはできないか。  
**答** 学校教育課長  
校舎のLED工事やトイレの改修工事、外壁改修工事など多くの事業を控えており、学校体育館エアコン設置の前倒しは難しい。



浚渫工事が行われた井野川

質問を終えて

今後昨年以上の厳しい暑さになるとの予報が出ており、体育館エアコン設置の前倒しについて、引き続き検討を促していきたい。

## 宇美駅前への宇美交番の 早期移転の実現を



録画配信は  
こちらから



とびか たかお  
飛賀 貴夫 議員

答 弁 福岡県と連携し  
事業進捗に協力する  
(町長)

**問** 治安維持のため、老朽化した宇美交番を駅前に移転することについて、提言や請願を行った。  
**答** 治安維持のため、老朽化した宇美交番を駅前に移転することについて、提言や請願を行った。その後、移転建替への計画が進んでいるようだが、その移転建設予定地は。  
**答** 地域コミュニティ課長  
JR宇美駅のロータリー内に建設する予定。  
**問** 建設にあたって、県や町をはじめ、自治会や関係団体との意見交換の場を設ける考えは。  
**答** 地域コミュニティ課長  
費用などを含めて、事業主体である県が方針を固めているため、協議の場の設置はないと考えている。  
**問** どのような建物を計画・設計しているのか。  
**答** 地域コミュニティ課長  
令和10年度頃に移転予定。解体後の跡地(町有地)の利用計画は、供用開始後、所管課と協議する。

**問** 交番機能だけでなく、志免交番のような会議ができる複合施設として整備する考えは。  
**答** 地域コミュニティ課長  
複合化の場合は、町が事業主体となり、費用も全て町負担となる。  
**問** 現在の宇美交番の解体施工や費用負担は。また、跡地の利用計画は。  
**答** 地域コミュニティ課長  
事業主体である県が全て担う。

なるため、交番機能のみでの移転を選択した。  
**問** 宇美駅前への宇美交番の早期移転実現に向けた町の考えと今後の取組は。  
**答** 地域コミュニティ課長  
県による宇美交番の移転スケジュールは、令和8年度に上下水道工事、9年度に建物建築、10年度に供用開始予定となっている。  
**問** スケジュールに遅れが生じないよう、県と連携して事業進捗に協力して行く。



現在の宇美交番

質問を終えて

宇美町の安全安心の要として、遅延なく事業が進むことを期待する。

## 運転免許証 自主返納支援に交通系 ICカードへ1万円付与を



録画配信は  
こちらから



こが ひろこ  
古賀 ひろ子 議員

答 弁 公共交通利用促進の  
観点から検討する  
(町長)

**問** 運転免許証返納者に対する公共交通利用支援制度の拡充について、町の見解は。  
**答** 地域コミュニティ課長  
オンデマンドバス(のりーと宇美)の導入に合わせ、免許返納者へ1万円分のクーポンを付与している。  
**問** 交通安全と移動手段の確保を目的としており、現在も継続している。  
**答** 利用者の方など踏まえて、のりーと宇美の利便性向上に向けた検討が必要と考えるが、町の見解は。  
**答** シニアプロモーション課長  
令和5年2月の運行開始後、事業者と連携して改善を重ねた結果、利用者は年々増加している。一方で、今もなお予約や待ち

時間には課題がある。車両増などの見直しを含め、改善に取り組む。  
**問** 運転免許証返納者支援について、バスICカード付与など選択肢拡大の見直しはできないのか。  
**答** シニアプロモーション課長  
公共交通全体の利用促進の観点から、のりーとの運賃とあわせて見直しを検討する。  
**問** 高齢者の移動手段の確保は、安心して暮らし続けるための重要な基盤である。  
**答** 日常生活を支える移動環境の施策は。  
**答** 健康課長  
単独で公共交通の利用が困難な高齢者の移動支援には、課題があると認識している。

今後は関係機関と連携し、実情に合った支援策を検討していく。  
**問** 高齢者が安心して運転免許を返納できる交通支援の充実が求められる。  
**答** 今後、具体的な検討を進める考えがあるのか、町長の見解は。  
**答** 町長  
のりーと宇美は運行開始から3年で利用者が増加し、多世代に利用されている。  
一方で、高齢者の移動手段不足などの課題もあるため、利用環境の改善や増便などについて検討が必要である。  
運転免許証返納者支援については、ICカード化も含め、制度設計を進めたい。  
移動支援と生きがいづくりを一体的に推進し、保健福祉が充



交通も買い物も、タッチひとつでスマートに

質問を終えて

人生100年時代において、最後まで自分らしく生きるための支援が必要である。バスICカード付与など、選択肢拡大の見直しに期待したい。